

大井中央地域福祉アンケート調査報告

先日は、ふじみ野市社会福祉協議会の「福祉アンケート調査」にご協力いただきありがとうございました。

アンケート調査の集計が終了いたしましたので、地域の皆様に結果を報告いたします。

アンケートの詳細、ご意見、ご相談等につきましては、ふじみ野市社会福祉協議会ふくし総合相談センターにじいろ(TEL049-265-6300)までお問合せください。

大井中央地域福祉アンケート調査集計結果

488世帯/男性553人/女性574人/総数1127人/令和2年5月1日現在

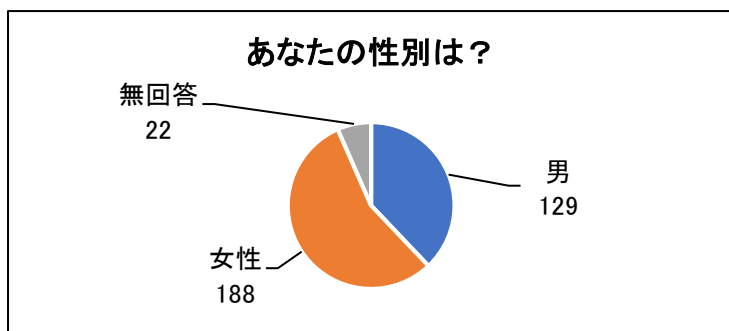
385世帯配布のうち201世帯回収(回収率52,2%) 回答者数339人

アンケート実施期間 令和2年9月7日～9月30日

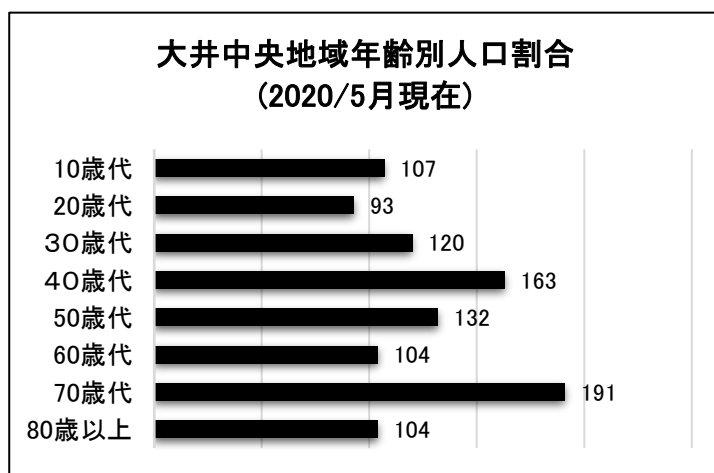
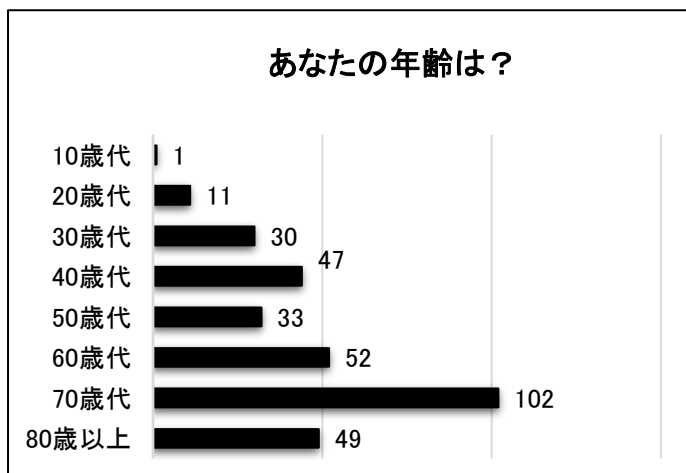
～福祉アンケート調査実施までの流れ～

- ・7月15日(水) 大井中央町会、社協向日葵支部、社会福祉協議会担当職員打合せ
- ・8月18日(火) 大井中央町会、社協向日葵支部、社会福祉協議会担当職員打合せ
- ・8月下旬 福祉アンケート実施事前周知ポスター掲示
- ・9月7日(月)～ 福祉アンケート配付
- ・9月30日(水) 福祉アンケート回収
- ・11月10日(火) 福祉アンケート住民座談会開催(福祉委員等関係者向け)
- ・11月下旬以降 福祉アンケート調査報告書配付

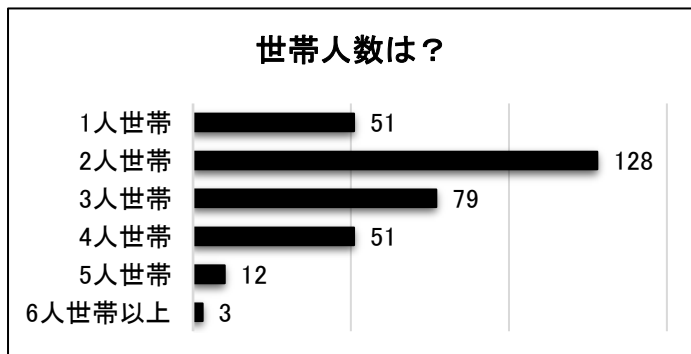
【1】 あなたの性別は？



【2】 あなたの年齢は？



【3】 世帯人数は？

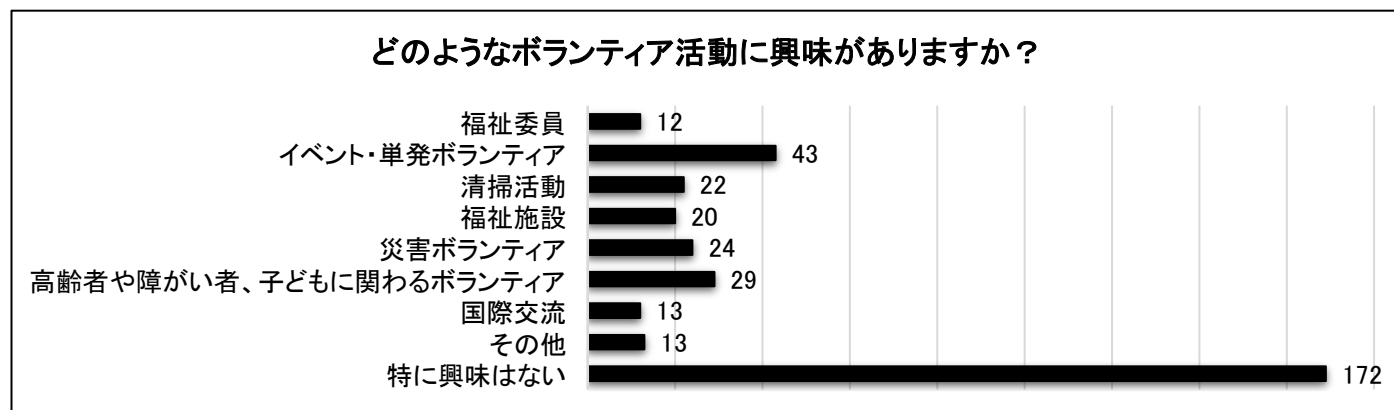


《考察》

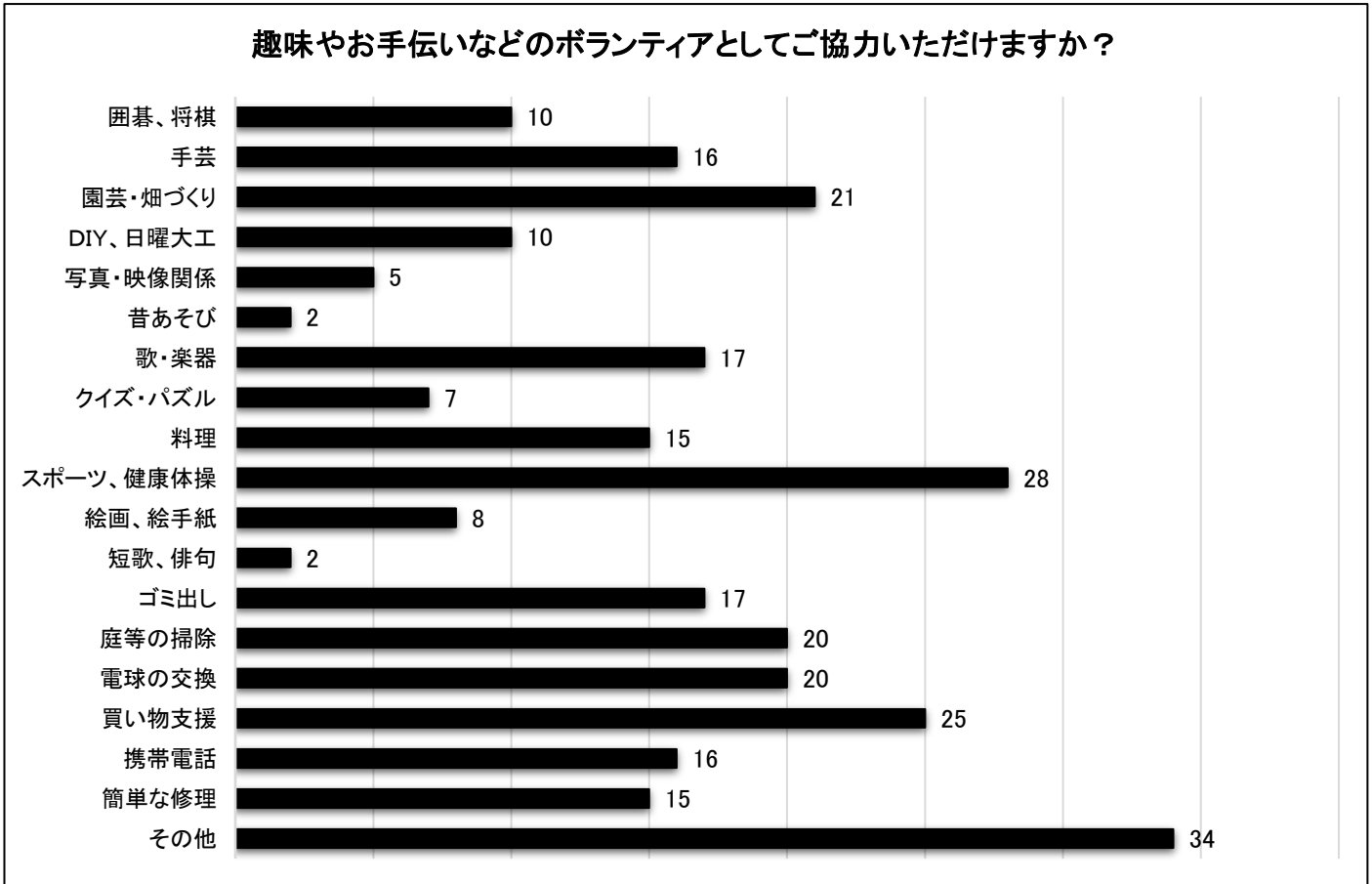
回答者の割合は、男性38%、女性56%の割合で女性の回答が多かった。回答者の年代では70歳代の方からの回答が32%と一番多く、30歳代上の方からの回答が96%と大半を占めた。

【4】 社会福祉協議会では、向日葵支部の活動を担う福祉委員を始め、地域の様々なボランティアを募集しています。ボランティア活動について伺います。

(1) あなたはどのようなボランティア活動に興味がありますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



(2) 趣味など、できることを活かしたボランティアとしてご協力できる項目はありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

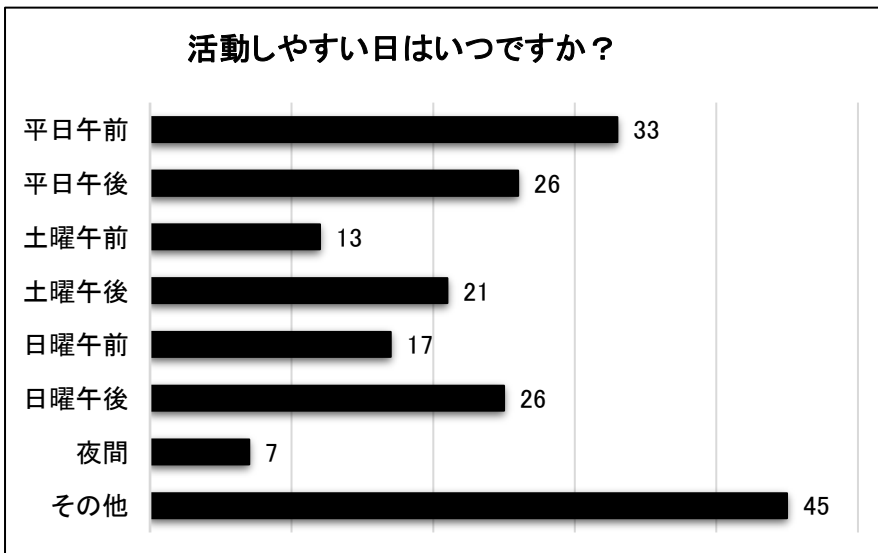


《考察》

設問【4】(1)(2)ともに全ての項目について回答が得られたこと、さらには、設問【4】(1)で「特に興味はない」と回答された方でも、(2)のいずれかの項目に回答してくださった方がいることから、ボランティア活動に必ずしも積極的ではなくても、ご自身の趣味やできることとうまく合えばボランティア活動につながる事が確認できた。ボランティア活動の担い手を増やしていくためには、「みなさんの趣味やできることもボランティア活動の1つですよ」ということを、より多くの人々に伝えていくことも必要だと思われる。

また、その他で寄せられた回答では、「英語」、「茶道」といったものがあった。

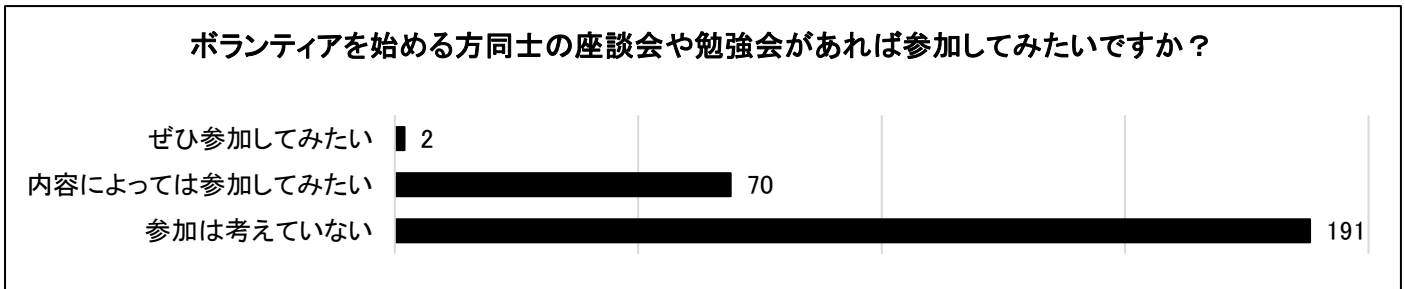
(3) ボランティア活動を行うとすると、活動しやすい日はいつですか？ 当てはまるもの全てに○をつけてください。



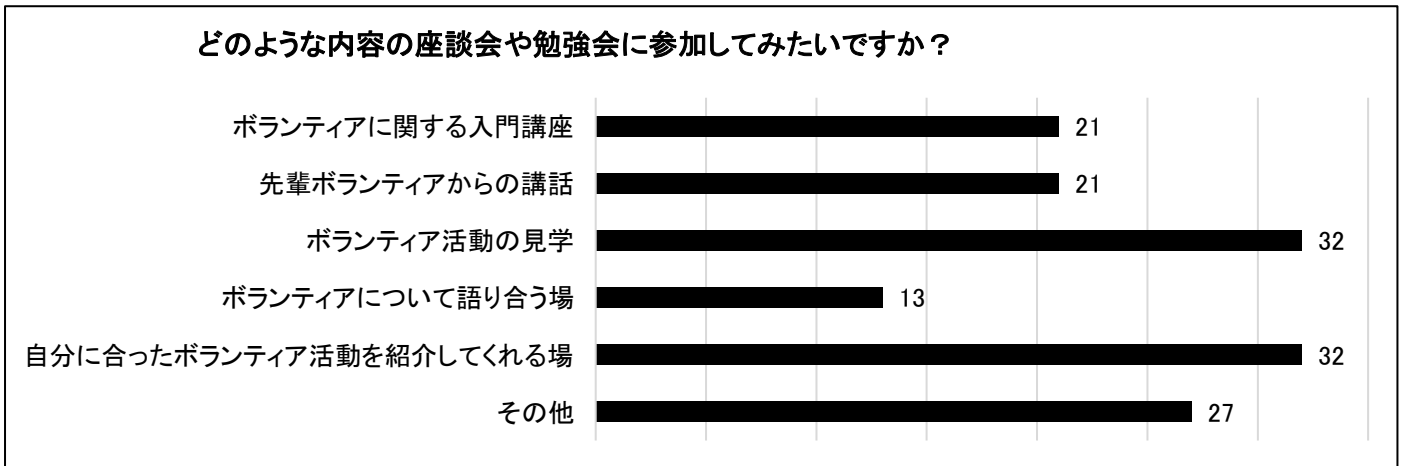
《考察》

年齢による顕著な差は見られないものの、大別すると20歳代～50歳代は土曜日・日曜日の方が多く、60歳代以上は平日・土日に大きな差は見られなかった。また、その他で寄せられた回答は、「休みが合えば」、「退職後」、「今は難しい」、「育児中で難しい」などであった。

(4) ボランティア活動を始めるにあたり、ボランティアを始める方同士の座談会や勉強会があれば参加してみたいですか？



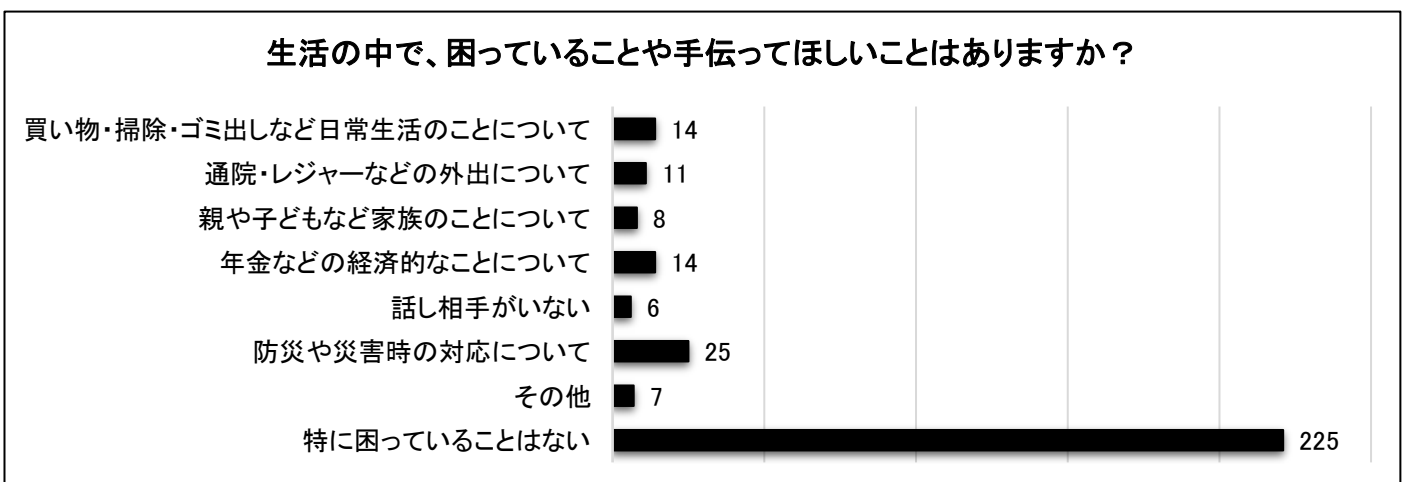
(5) どのような内容の座談会や勉強会に参加してみたいですか？当てはまるもの全てに○をつけてください。



《考察》

「ぜひ参加してみたい」という回答は少なかったものの、「内容によっては参加してみたい」という回答が69名いらっしゃった。内容については「ボランティア活動の見学」、「自分に合ったボランティア活動を紹介してくれる場」が比較的多く、設問【4】(1)(2)の結果を合わせると、「自分自身にあったボランティア活動」を見つける(紹介する)ことが、ボランティア活動の担い手を増やす鍵だと推察できる。

【5】 生活の中で、困っていることや手伝ってほしいことはありますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。

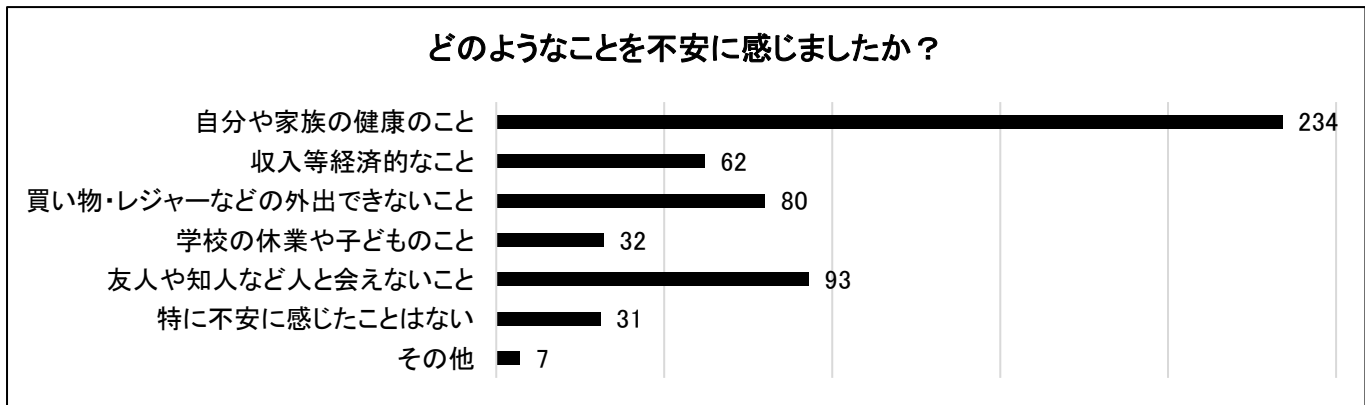


《考察》

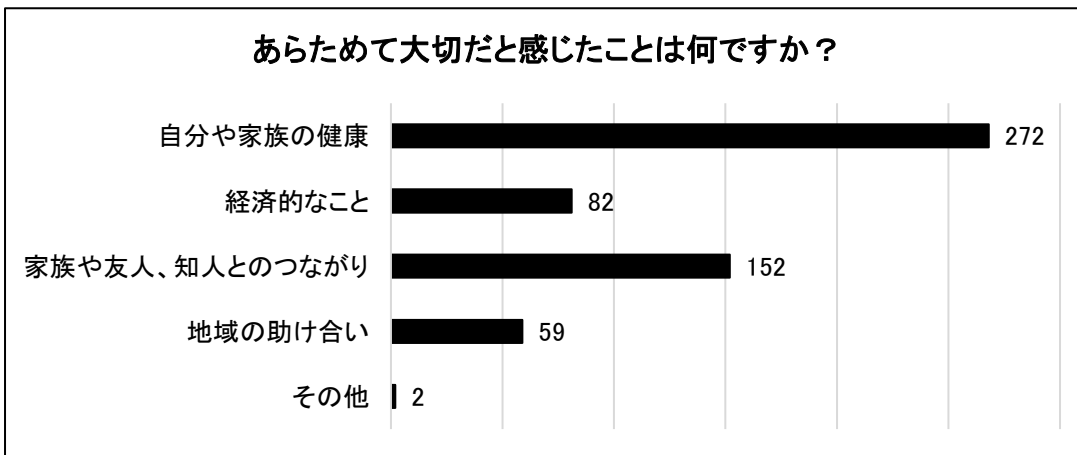
「特に困っていることはない」という回答が圧倒的に多いものの、「今現在」であると理解し、いざという時のための身近な相談窓口を拡充しておく必要がある。

【6】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日々の生活で感じたことについて伺います。

(1) どのようなことを不安に感じましたか？ 当てはまるもの全てに○をつけてください。



(2) あらためて大切だと感じたことは何ですか？ 当てはまるもの全てに○をつけてください。



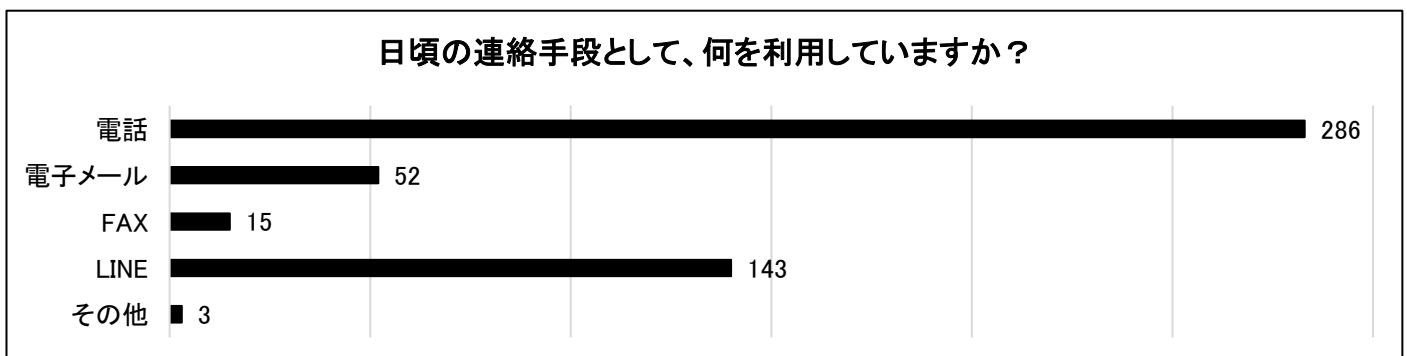
(年代別)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
自分や家族の健康	0	9	26	38	32	42	89	36
経済的なこと	1	1	13	23	15	8	15	6
家族や友人、知人とのつながり	0	6	17	19	17	24	47	22
地域の助け合い	0	0	5	9	5	13	21	9
その他	0	0	0	1	1	0	0	0

《考察》

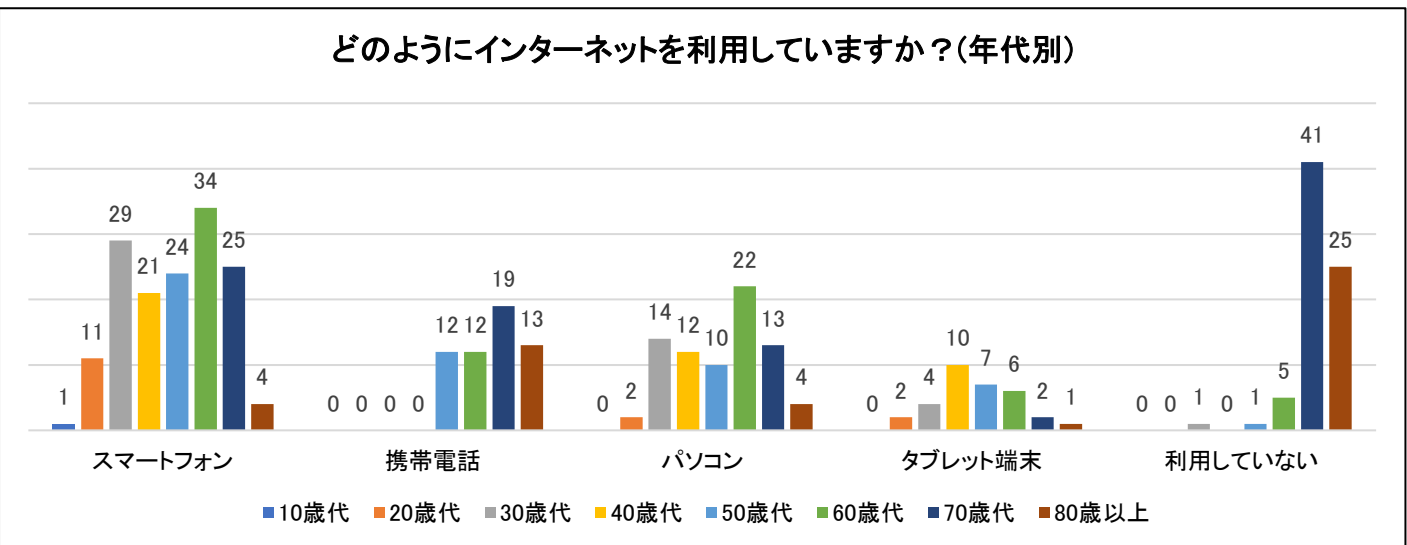
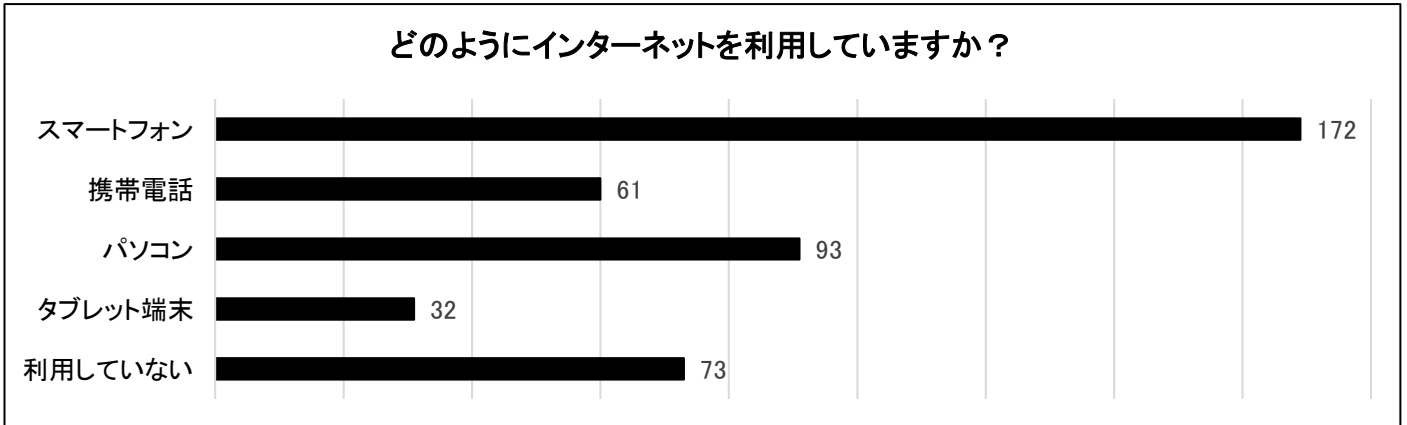
コロナ禍という未曾有の状況の中、世代を問わず自分自身や家族への思いが強く表れる結果となった。また、「地域の助け合い」が大切だと感じた方も59名いらっしゃり、この思いをさらに広げられるよう事業展開をしていきたい。

【7】 日頃の連絡手段として、何を利用していますか？ 利用しているもの全てに○をつけてください。

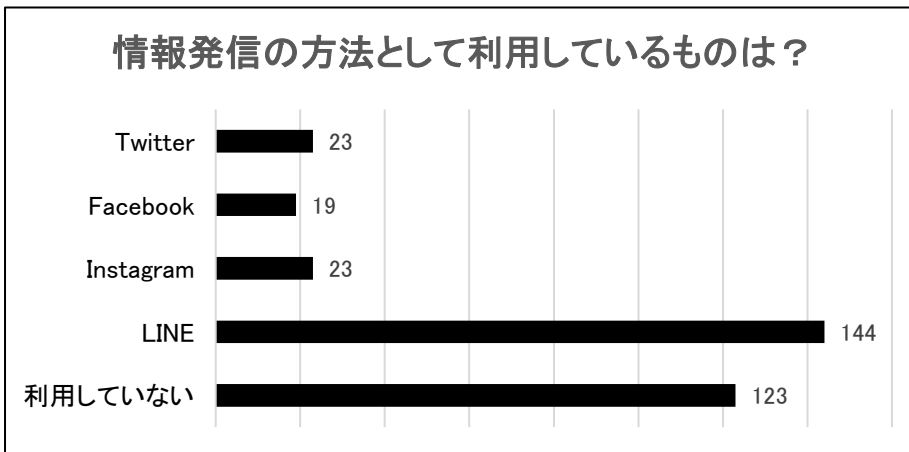


【8】 インターネットや情報発信について伺います。

(1) どのようにインターネットを利用していますか？利用しているもの全てに○をつけてください。



(2) 情報発信の方法として利用しているもの全てに○をつけてください。



《考察》
 情報発信の方法として「LINE」が比較的広い世代で利用されていることがわかる。
 今回の福祉アンケート調査により、「LINE」がボランティア情報を伝えていく有効な手段の1つであることがわかった。

(年代別)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
Twitter	0	5	7	7	3	1	0	0
Facebook	0	2	6	6	0	4	0	1
Instagram	0	5	12	6	0	0	0	0
LINE	1	9	21	38	20	27	26	2
利用していない	0	0	5	6	11	16	54	31